

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部農林振興センター	氏名	井田 千尋
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験交流協議会		
① 研修の日時 平成26年9月17日(水)～20日(土)			
② 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)			
<p>広島県の小学生が邑智郡を訪れ農家民泊を体験するプログラムの補助、写真撮影、編集作業を行いました。</p> <p>4日間の研修で一番実感したのは、役場と地域の方が一体となって小学生を受け入れる体制がしっかりできているということです。事前説明会の段階で、受け入れ農家さんの積極的な姿勢と、“気持ち”だけではなく“ポイントを抑えておられる”ことに驚きました。事業が始まって4年目とのことでしたが、役場の細やかなサポートによって地域全体での理解が進み、参加農家も増えてきているとのことです。</p> <p>研修3日目に参加農家全戸を巡回して写真撮影をした際には、ご家族の方が小学生を“お客様”としてではなく“家族”として受け入れておられ、小学生も家に着くまでは緊張していたのにまるで親戚の家に遊びに来たかのようにリラックスをして過ごしていました。また(市町村では当たり前のことだと言われましたが)、役場担当者と各農家さんが普段からしっかりコミュニケーションをとって人間関係を築いておられるため、信頼に基づいて柔軟な対応をとっておられました。役場＝農家の関係ができているため、農家＝小学生の関係が築けているのであって、これは県では実施できないことだと実感しました。</p> <p>この事業は、U・Iターン希望者の研修等とは違い、すぐに定住などの結果に結びつくものではありません。しかし、参加小学生がこの研修での思い出を家族に話してくれることで広島の人が島根県(邑智郡)を身近に感じてくれるかもしれません、また伴南小学校と邑智郡との関係は年々深いものになってきています。何より、地域外の人を受け入れるという体験を役場と住民が共有することにより、地域の魅力や外へのPRの仕方を身を以て知ることができます。今回この研修に参加させていただいたことにより、行政が先導するだけではなく地域と一体となって悩み、楽しみ、取り組んでいくことの意義を学ぶことができました。</p>			
③ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			

(注) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください